

賞 次席

課題(テーマ) 地域から世界へ

「地域から世界へ」 東明館高等学校 2年 池田莉咲

## I, 序論

近年、グローバル化が進む現代社会において私たち高校生は国際的視野に立って国際相互理解を促進する視点が求められる。以前、学校の国際的活動の一環として、開発途上国の問題点を発見し改善策を発表する場が設けられた。私は、住環境の改善・向上を目標にプレゼンを行ったが、その際に、遠く知らない国や地域をインターネットや書籍での調査のみで改善策を得ようと試みた。しかし、それでは現地の人々の考えや要望を聞けず、自己満足の改善策になってしまうことに気が付いた。つまり、訪れたことのない開発途上国の問題点を改善することは、現地の人々の声を直接聞くことができないため困難であるのだ。そのため、私は、まず地元の「町の問題点」を知り、改善法を考察したのち行動へ移すことで、途上国の問題へ応用させることができるのではないかと考えた。地域での活動を通して開発途上国などの世界の地域活性化ができると考えたのである。

これらの考察に加え、学校のクラブ活動として所属しているバイオ同好会での活動を交えて地元の地域での活動が世界でも活用できることを最終目標とした。

## II, 本論

### 第1章 町の問題点の発見と解決策

#### 第1節 地域の課題を知る

私が所属するバイオ同好会では、花や果実から酵母を採取し、優良な酵母を発見する活動を行っている。その活動を通して本論文の目的である「地域での経験を世界へ応用することの「地域での経験」を積むことができると考えた。

地域の課題を知るためにバイオ同好会の活動に関わる町内の人々、約10名に意見を聞いた。半数以上の人々が「若者が減って以前と比べ町に元気がない」と答え、中には、「町の特産品がない」という声もあった。そこで、町について具体的に調べてみることにした。

本校、東明館高校が位置する基山町は豊富な自然や歴史の足跡が多く残る良い町である。しかし、近年では若年層の減少が問題化しており、町の総人口は2000年の約1万9000人をピークに2015年の3月末には1万7449人に減少した。また、1人の女性が生涯に産む子供の推定人数を示す合計特殊出生率は基山町(2008~2012年)は1,25%と、佐賀県(1,61%)、全国(1,41%)を下回る。さらに、人口の多い60年代前半から50年代後半の多くが、今後は順次高齢期に達するため高齢化はさらに急速に進行することが予想される。

以上より、「人口減少」と「特産品不足」の2点が課題点としてあげられる。

## 第2節 地域の利点を知る

町の課題点だけでなく利点を知ることによって課題に対する有効な改善策が得られると考え、調べることにした。

基山町は博多や久留米などの都市部に近く、交通の便が良い。そのうえ、創立約1300年を迎える大興善寺や基肆城など神社仏閣が多く残る良い町だ。さらに、大興善寺のつつじや基山、東明館の桜など自然に富んでいる。近年、これら自然や歴史を生かしたサービス業や交通の便が良い点による運送業が活発に行われている。また、地域再生を図るための事業として地域の資源を活用し、地域が連携した「食」の拠点を構築するために地域資源の掘り起こしや商品化を推進する活動が行われていることも分かった。

多くの長所を発見することができ、町の特徴や産業について知ることができた。その中で、私が最も注目したのは食の商品化を推進する活動が行われていることだ。バイオ同好会の活動でのパン作りと結びつけやすいと考えたからである。第3節では、これら長所を課題と結び付け課題解決の策を決定する。

## 第3節 地域の活性化を図る

第1節と第2節で述べたように、基山町は自然が豊富で地域再生を図る事業も推進されているが人口減少は増加傾向にある。私はそのような課題に対し、地元の高校生としてできることはないか検討を行った。その結果、バイオ同好会の活動として基山の豊かな自然から採取した酵母を用いてパンを焼き、特産品を作ることで町を応援しようという考えに至った。採取した酵母を用いたパン作りは以前からバイオ同好会の活動で行っていたが、最終目標を特産品の制作としたのだ。

一昨年からの研究により、町内から市販酵母に劣らない優良酵母を獲得することができ、現在では町内の菓子店の協力によりそれら酵母を使った饅頭やパンの商品開発を検討している。また、今年の4月に本校で行われた、町のお祭りである「桜フェスタ」では実際に地域の方々にパンを配り、商品化へと近づくことができた。

以上を通して、地域を知り、改善策を考察し、行動に移すことで町の特産品制作を進めることができたといえる。これは町の活性化へつながると考えられる。また、地域の人々の意見を何度も聞いたり、試作のパンの感想や改善すべき点、さらに研究に行き詰まった際にアドバイスをもらうことで、より地域に根差した活動ができた。地域の人々と直接意見交換をする場を多く設けたことで町の活性化という最終目標を明確にできたのである。

## 第2章 地域から世界へ

本章では第1章で述べた、これらの経験を開発途上国をはじめとする世界へどのように応用できるのか検討する。

第1章より、地域から世界へ応用できることとして気づいたことが2点ある。

1つ目は、意見交換の重要性である。インターネットや本で調べるだけでは、地域の人々の意見や要望は分からない。また、バイオ同好会での活動で経験したように、他者の意見を聞くまでは何を調べたらよいかすらわからなかった。他者の意見を聞くことで、知

るきっかけにつながり、行動を起こすスタート地点に立てるのだ。それだけでなく、地域の人々と積極的にコミュニケーションをとることで活動の手がかりにすることができ、さらには仲が深まることで地域の人々により喜んでもらえる活動ができるのだ。

2つ目は、具体的かつ実現的な策を練ることだ。序論で述べたように学校の活動で行った、開発途上国の課題発見と改善策の発表を行う際には、その地域を詳しく知ることができなかったこともあり、漠然とした策しか練ることができなかった。それは自己満足の策になってしまい、地域のために良い活動や結果が得られないと考える。また、目標や目的を具体的な内容にしなければ、活動の際に自分が何をすべきなのか何をしたいのかわからなくなる可能性がある。よって、具体的かつ実現的な策を練ることは途上国の問題解決へ応用できる。

また、これら2つの気づきから、世界へ応用するために重要なことを2点学んだ。

1つ目は、好奇心による情報収集力である。第1章で述べたように、地域の人や電子媒体から得る情報によりすべての行動が決定される。情報が少なく薄ければ、行動範囲も狭まり、厚みのないものになってしまう。情報が多ければ活動に行き詰った際の道しるべにもなるのだ。いかに幅広い情報を集めるかによって行動の幅も広がるのである。集める手段、方法も大事だが、集める量も重要視しなければならない。また、膨大な情報を収集するには、知りたいという欲、つまり好奇心が必要になる。好奇心がなければ、時間と手間がかかる情報収集という作業をおろそかにしてしまい、積極的な活動ができないからである。

2つ目は、発想力とそれに裏付けされた知識である。いくら情報があってもそれを活動に結び付ける力がなければ意味がない。ありふれた意見や策では、多くの活動や事業が展開される中、地域の人々の関心を得て地域活性化を図ることはできない。他者が思いつかないような発想をしなければならないが、そのためには発想の根源である知識を蓄えなければならない。知識が豊かでないと発想も豊かにならないからだ。幅広い分野について知ろうとしなければならない。また、知識に富んだ人と様々な分野で関わりを持つことも、知るきっかけにつながり、活動において力になるため重要だといえる。

以上のことから、積極的な意見交換、具体的かつ実現的な策の制作、好奇心による情報収集力、発想力とそれに裏付けされた知識の4点が開発途上国や地域の活性化へ応用できることだといえる。

### III, 結論

訪れたこともない開発途上国の活性化を図るのは困難なことであった。しかし、バイオ同好会を通して行った地域活性化を図る活動では地域の人々の意見を取り入れ、町について知り、それをどう地域活性化につなげるか考察、行動を行うことで商品開発まで進んできたことができた。これは地域活性化へ近づくことができたといえる。今まで、学校へ通うための場所であった基山町の町おこしの手伝いができるとは、思ってもみなかった。町を知ろうという思いだけで、町の素晴らしさや美点に気づけ、地域の人々と関わることができ、町おこしをしたいという思いだけで、多くの人の協力のもとバイオ同好会の活動

で町内から採取した酵母を用いたパンが焼け、その夢が実現しようとしているのだ。また、世界で活躍できる仕事に就きたいと漠然とした夢を抱いていた私は、この経験を通してより具体的な夢を持つことができた。それは、開発途上国の地域活性化を推進することだ。地域から学んだ経験を開発途上国をはじめとする世界の国々での地域活性化へ応用できると考え、実際に世界で応用し活動したいのである。地域での活動を通して開発途上国などの世界の地域を活性化できることは、まさに地域から世界へ羽ばたけるチャンスである。小さな町での小さな活動から、世界を見据えた夢を持つことができた私は、このチャンスを無駄にせずに、世界へ羽ばたける人材になりたい。

<参考文献>

- ・佐賀新聞 2015年4月18日
- ・佐賀新聞 2016年2月2日
- ・大興善寺案内 [daikouzenji.com](http://daikouzenji.com)
- ・「第2章 地域を取り巻く基山町の現状」 [town.kiyama.lg.jp](http://town.kiyama.lg.jp)
- ・論文 「基山町の活性化を見据えた酵母菌の研究—基山町内から分離・選別した優良酵母による製パンへの応用」